

- 問1 足尾銅山鉱毒事件を解決するために尽力した田中正造が行った行動のうち、この事件を広く社会に周知させ、天皇に直接訴えかけようとした出来事を何と呼びますか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 明治天皇への直訴                      2. 大政奉還の勧告                      3. 国会での解散命令                      4. 自由民権運動の演説
- 問2 明治初期、政府が巨額の資金を投じて群馬県に富岡製糸場を建設した主な目的として、当時の経済状況をふまえて説明したものを選びなさい。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 地方の農村に新たな雇用を生み出し、士族授産（元武士への職の提供）を支援するため。                      2. 海外からの安価な製品に対抗するため、関税をかける代わりに製造コストを極限まで下げるため。                      3. 高品質な生糸を大量生産することで外貨を獲得し、軍事や産業の近代化資金に充てるため。                      4. 国内の綿織物需要をまかなうために、原料となる綿花の栽培と加工を一貫して行うため。
- 問3 千葉県の東京湾沿いの地域には、石油・石炭製品を扱う大規模な工場が集中しています。このような工業が、内陸部ではなく特に臨海部に立地している理由として最も適切な説明を次から選びなさい。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 大規模な工場用地が確保しやすく、原料の輸入に便利だから。                      2. 製品を消費地である東京都心へ、船を使って短時間で運搬するため。                      3. 工場から出る排気ガスによる大気汚染の影響を、海風で最小限に抑えるため。                      4. 冷却水として大量の真水を確保するため、大きな河川の河口付近が選ばれたから。
- 問4 関東地方にある4つの都県の統計において、製造品出荷額が約17兆円と極めて高く、情報通信業の事業所数が258、漁獲量が290トンとなっている県はどこですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 千葉県                      2. 神奈川県                      3. 埼玉県                      4. 東京都
- 問5 関東地方をはじめとする太平洋側の地域では、冬に晴天の日が多く、空気が乾燥する傾向があります。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 赤道付近で発生した低気圧が、勢力を維持したまま太平洋沿岸を北上し、上空にある雲を押し流すため。                      2. ユーラシア大陸から吹く北西の季節風が、奥羽山脈や三国山脈を越える際に水分を放出し、乾燥した風となって吹き下ろすため。                      3. 太平洋から吹く南東の季節風が、日本列島の中央にある山脈に遮られ、沿岸部に湿った空気が停滞するため。                      4. 日本付近で暖流と寒流がぶつかり、その影響で発生した上昇気流が太平洋側の水分をすべて日本海側へ運ぶため。
- 問6 大都市圏の郊外に位置し、主に住宅地としての機能を持つ「ベッドタウン（衛星都市）」の人口指標の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 昼間人口と夜間人口がほぼ一致しており、地域内での雇用の場と住居が完全に調和している                      2. 夜間の居住が制限されているため、夜間人口が昼間人口の半分に減少する                      3. 地域内に工場や大学が非常に多いため、夜間よりも昼間の人口の方が圧倒的に多くなる                      4. 夜間人口に比べて、通勤や通学で市外へ出る人が多いため、昼間人口の方が少なくなる
- 問7 冬の関東地方において乾燥した晴天の日が多くなる理由として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 南東からの季節風が太平洋上の湿気を吸収し、関東平野に暖かい空気を供給し続けるため。                      2. 北西からの季節風が関東平野の河川から水分を奪い、雲の発生を抑えるはたらきをするため。                      3. 北西からの季節風が山脈を越える際に日本海側で水分を失い、乾いた風となって吹き下りてくるため。                      4. 南東からの季節風が山脈に遮られることで、関東地方全体で風がほとんど吹かなくなるため。
- 問8 茨城県などのように大都市に隣接する地域で行われている、大消費地に近いという立地条件を最大限に生かし、鮮度が重視される野菜などを生産して出荷する農業形態を何と呼ぶか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 抑制栽培                      2. 促成栽培                      3. 二毛作                      4. 近郊農業
- 問9 高度経済成長期に18歳で上京し、25歳で結婚、その4年後の1970年代半ばに多摩ニュータウンの集合住宅へ入居した人物のライフステージを考えたとき、当時の地域社会で起きていた現象の説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 2005年ごろの入居であったため、すでに地域の高齢化が進んでおり出生数は最低水準であった                      2. 入居当時は高度経済成長前であったため、周辺はまだ農村地帯であり集合住宅は稀であった                      3. 入居時期は1990年代に当たり、バブル崩壊による地価下落で人口が都心へ回帰し始めた                      4. 入居時期が地域の出生数のピークと重なり、子供たちのための学校建設などが急ピッチで進んだ
- 問10 ある地域の地形図を確認したところ、中央を流れる河川の橋を起点に、南東側には複雑な路地を持つ古い市街地が広がり、一方で河川を渡った北西側には、学校の記号や屈曲した道の先に公共施設が点在していました。このような地形図から調査経路を特定する際、最も重視すべき読図の方法はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 地図上に示された植生記号のみに頼りに、森林や田畑の境界線を調査経路とする                      2. 橋、学校、道路の形状などの地点情報を組み合わせ、周辺の建物密度から土地利用の変化を読み取る                      3. 等高線の間隔から土地の傾斜を計算し、最も標高が高い地点を調査の起点として設定する                      4. 縮尺を利用して地点間の直線距離を測り、最短ルートを機械的に導き出す
- 問11 1960年代から70年代にかけて、東京の多摩や大阪の千里、泉北などでは、大規模な計画住宅地の造成が進められました。このような開発が行われた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 輸出産業の拠点とするため、沿岸部の埋め立て地に大規模な工場を集積させた。                      2. 地方の過疎化を防ぐため、農村部に新たな公共施設や商業施設を整備した。                      3. 都心の老朽化した建物を集約し、高層マンションやオフィスビルに建て替えた。                      4. 都市圏での深刻な住宅不足に対応するため、郊外の丘陵地などを大規模に開発した。
- 問12 日本の都道府県別の人口統計において、東京都や大阪府のように「昼間人口比率が100%を大きく上回る地域」と、その周辺に位置する「昼間人口比率が100%を下回る地域」の関係を述べたものとして、正しいものはどれか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 中心都市に都市機能が集中し、周辺地域がベッドタウンとしての役割を担っている                      2. 周辺地域の利便性が高まったことで、昼間も夜間も中心都市の人口が減り続けている                      3. 周辺地域の労働力不足を補うために、中心都市から労働者が大量に流出している                      4. 中心都市の地価が安いいため、周辺地域から夜間にのみ居住者が移動している
- 問13 関東地方の各県における工業統計を示した資料において、栃木県の状況を説明した記述として最も適切なものはどれか。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯の中核として、金属工業や印刷・製本業の出荷額が全国で最も高い水準にある。                      2. 北関東の内陸部に位置しているが、原材料の輸入に依存するため、鉄鋼業が電気機械器具を上回る主要産業となっている。                      3. 京葉工業地域に含まれ、出荷額の大部分を鉄鋼業と石油化学工業が占める典型的な臨海型工業の構造を持つ。                      4. 北関東工業地域に位置し、2019年時点の統計でも電気機械器具の出荷額が輸送用機械器具と同等の高い数値を示している。